

第47回長崎県障害者技能競技大会（アビリンピック）

ビルクリーニング課題

かんけいかくい
関係各位

だい かい れいわ ねんど ながさきけん しょうがいしゃぎのうきょうぎたいかい
第47回 令和7年度 長崎県アビリンピック（障害者技能競技大会）

きょうぎさんかりゅういじこう
ビルクリーニング競技参加留意事項

はじめに

れいわ ねんど かいさい せんしゅおよびかんけいしゃ ねっちゅうしょうよぼう こうそくじかんなど しんたいてきふたんけいげん
令和7年度の開催にあたり、選手及び関係者の熱中症予防、拘束時間等の身体的負担軽減のために、

きょうぎていいん にん かいさい
競技定員を10人とし開催いたします。

きょうぎ しんさいいん しょうかい かいじょうない ちゅういじこうなど せつめい おこな さぎょうぎ
ビルクリーニング競技では、審査委員の紹介や会場内の注意事項等の説明を行います。作業着など

き が しゅうごうじかんない きょうぎうけつけ しゅっせきかくにん おこな きょうぎじゅん き
に着替えたうえで、集合時間内にビルクリーニング競技受付で出席確認を行い「競技順を決めるくじ」

ひ う と せんしゅひかえしつなど ちゃくよう しんさいいん しょうかいなど せつめい かいし
を引き、ゼッケンを受け取ってから選手控室等でゼッケンを着用し、審査委員の紹介等の説明の開始の

あんない してい ぼしょ たいき あんない すみ きょうぎかいじょう いどう
案内があるまで、指定された場所で待機してください。なお、案内があったら速やかに競技会場へ移動を

ねが
お願いします。

きょうぎしゅうりょうご しんさいいん こうひょう おこな しんさけっかはっぴょう ふく へいかいしき おこな すべ
競技終了後、審査委員による講評を行います。審査結果発表を含む閉会式は行いません。全て

きょうぎ しゅうりょう せんしゅ しょうなど こうひょう き かた なまえ しょうぞくだんたいさきめいしょう
の競技が終了した選手で、私用等により講評をお聞きにならない方は、「お名前」、「所属団体先名称」、

きたく むね せんしゅひかえしつ つた へんきやく きたく
「帰宅する」旨を選手控室スタッフにお伝えいただき、「ゼッケンを返却」のうえ帰宅してください。

しんさけっか ごじつ とうきこうながさきし ぶ にゅうしょうしゃ こうひょう
審査結果は、後日、当機構長崎支部ホームページにて入賞者のみ公表いたします。

ながさきけん きょうぎ きんしょうじゅしょうしゃ ぜんこくたいかい すいせんたいしょう
長崎県アビリンピック ビルクリーニング競技における金賞受賞者は全国大会への推薦対象となり

ぜんこくたいかい すいせん きょうぎ たつ はんだん かだい ばあい きんしょうにゅうしょうしゃ
ますが、全国大会に推薦する競技レベルに達していないと判断される課題がある場合には、金賞入賞者

もう
を設けないことがあります。

きんしじこう 禁止事項

- きょうぎじ かんちゅう たにん しどう じょげん う
競技時間中に他人から指導や助言を受けてはいけません
- せんしゅ ぼうがい
ほかの選手やスタッフの妨害をしてはいけません
- きょうぎじかん ちこく およ きょうぎじ かんちゅう きよか せき はな
競技時間に遅刻、及び競技時間中に許可なく席を離れてはいけません
- こい びひん きざいなど きそん
故意に備品や機材等を棄損させてはいけません
- ほか たいかいうんえい きょうぎじし ししょう おそ こういなど
その他、大会運営や競技実施に支障をきたす恐れがある行為等をしてはいけません

いっぱんてき じこう 一般的な事項

A、きょうぎないよう さいてんほうほう にゅうしょうしゃ けつてい A、競技内容、採点方法、入賞者の決定について

➤ きょうぎないよう 競技内容

1. きょうぎかだい きょうぎじかん きょうぎないよう べってん だい かい れいわ ねんど ながさきけん しょうがいしゃ
競技課題、競技時間などの競技内容は、別添「第47回 令和7年度 長崎県アビリンピック(障害者技能競技大会)ビルクリーニング競技課題作業要領」でご確認ください。

さぎょう あんぜん むり しせい おこな つと
なお、作業は安全で無理のない姿勢で行うように努めてください。

2. かだい せんいゆかせいそうさぎょう しょう しんくうそうじき しょう べっし さんこう しゃしん かくにんねが
課題1 繊維床清掃作業で使用する真空掃除機の仕様は、別紙3(参考)写真をご確認願います。

3. かだい だんせいゆかせいそうさぎょう きじょうふ さぎょう しょう ふさ あおいろ みずふ よう
課題2 弾性床清掃作業及び机上拭き作業で使用した「モップ房」と「青色タオル(水拭き用)」について

しんさいしょうこうもく せんしゅじしん みずあら かた しほ せんしゅゆうどう
では、審査対象項目ではありませんが、選手自身で水洗いし、固めに絞ったうえで、選手誘導スタッフに返却するようご協力をお願いします。

➤ さいてんほうほう はいてん 採点方法及び配点

さぎょうどうさ てじゅん しょうあやま さぎょうたいど さぎょうじかん さぎょうじゅんび めん
「作業動作(手順)」、「仕様誤り」、「作業態度」、「作業時間」、「作業準備」の5つの面から、それぞれ

きょうぎかだい しんさこうもく さいてん
れの競技課題の審査項目について採点します。

はいてん かだい せんいゆかせいそうさぎょう てんまんてん しんさいいん めい あ てん めい かだい だんせい
配点は、課題1「繊維床清掃作業」は、280点満点(審査委員1名当たり140点×2名)、課題2「弾性

ゆかせいそうさぎょうおよ きじょう ふ さぎょう てんまんてん しんさいいん めい あ てん めい ごうけい
床清掃作業及び机上拭き作業」は、420点満点(審査委員1名当たり210点×2名)、合計700

てん
点となります。

➤ 入賞者の決定

かだい ごうけいとくてん たか せんしゅ きんしょう ぎんしょう どうしょう かくしょう せんしゅつ
2つの課題の合計得点の高い選手から、「金賞」、「銀賞」、「銅賞」の各賞について選出します。

かくしょう せんしゅつ さい どうてん せんしゅ ふくすう ばあい しんさいいんぜんいん きょうぎ じょういしゃ けつてい
なお、各賞の選出の際に同点の選手が複数の場合は、審査委員全員の協議により上位者を決定し

きんしょうじゅしょう ぜんこくたいかい きょうぎ たつ はんだん さぎょうこうもく
ます。また、金賞受賞については全国大会の競技レベルに達していないと判断された作業項目が

ばあい がいどうしゃ ばあい りゅういねが
ある場合には該当者なしとする場合がありますことにご留意願います。

B、ビルクリーニング競技会場への集合時間について

➤ さぎょうぎ うご ふくそう き が ひつよう ひと こういしつ きがえ じ ふん
作業着など動きやすい服装に着替えが必要な人は更衣室で着替たうえて、9時25分までにビルクリー

きょうぎかいじょう きょうぎさんかうけつけ きょうぎじゅん き ひ う と せんしゅ
ニング競技会場で競技参加受付と競技順を決めるクジを引き、ゼッケンを受け取ってから選手

ひかえしつ いどうご ちゃくよう など してい ばしょ たいき せんしゅひかえしつ
控室へ移動後、ゼッケンを着用する等、指定された場所で待機してください。なお、選手控室への

にゅうしつ せんしゅ たいちょうふりよう ばあい のぞ きょうぎかんけいしゃ げんてい ちゃくよう さい
入室は、選手が体調不良の場合を除き、競技関係者に限定しております。ゼッケン着用の際にお

てつた ひつよう ばあい にゅうしつまえ ちゃくよう きょうりよく ねが
手伝いが必要な場合は、入室前に着用するようご協力をお願いします。

➤ きょうぎかいしじかん す きょうぎさんかうけつけ お ひと きょうぎゆうどう こえ おう
競技開始時間を過ぎても競技参加受付が終わっていない人や、競技誘導スタッフの声かけに応じない

ひと きょうぎじゅん い か きょうぎ しんこう ちゅうい ねが
人は、競技順を入れ替えて競技を進行しますのでご注意ください。

C、競技進行と競技会場への誘導について

➤ かだい かだい どうじ しんこう
課題1と課題2を同時に進行します。

ばんごう わ
クジ番号「1～5のグループ1(※1)」と、「6～10のグループ2(※2)」に分け、グループごとの

ばんごう わか せんしゅ きょうぎ じっし きゅうけいご い か のこ きょうぎ じっし
クジ番号の若い選手から競技を実施し、休憩後にグループを入れ替え残りの競技を実施します。

(※1のグループは、課題1を行ったあと、課題2を実施)

(※2のグループは、課題2を行ったあと、課題1を実施)

- 課題1と課題2の競技を最初に行う選手2名と、次に競技を行う選手2名は競技会場内の指定

ばしょ しず たいき せんしゅ きょうぎゆうどう ゆうどう したが せんしゅひかえしつ
場所で静かに待機してください。なお、ほかの選手は、競技誘導スタッフの誘導に従い選手控室の

していばしょ しず たいき
指定場所で静かに待機してください。

せんしゅ いれ か きょうぎゆうどう おこな こえ せんしゅ すみ きょうぎかいじょう
選手の入替えは競技誘導スタッフが行いますので、声をかけられた選手は速やかに競技会場へ

いどう ねが
移動をお願いします。

- 課題1と課題2では、競技時間が異なるため競技の終了時間が異なることにご留意願います。

D、更衣室、選手控室の利用上の留意事項について

- 着替えが必要な人は更衣室を利用してください。

- 更衣室に私物の保管場所はありません。ほかの利用者の私物との混同・混入及び紛失・盗難防止のため、移動の際は必ず持ち出してください。なお、紛失・盗難等について主催者は責任を負いません。

いどう さい かなら も だ ふんしつ とうなんなど しゅさいしゃ せきにん お
め、移動の際は必ず持ち出してください。なお、紛失・盗難等について主催者は責任を負いません。

- 更衣室と選手控室は、ほかの選手も利用します。また、感染症対策のため、窓を開けて換気を行う

ばあい
場合があります。

- 熱中症予防のために、こまめな水分補給に努めてください。

- 競技の公平性の確保のため、選手が体調不良を訴えた場合を除き、ビルクリーニング競技が

しゅうりょう せんしゅ こえか ないよう きょうぎ かんけい いな と せんしゅひかえしつ
終了するまでは選手への声掛け(内容が競技と関係あるか否かは問いません)と選手控室への

で い ひか りかい きょうりょく ねが
出入りはお控えいただきますようご理解とご協力をお願いいたします。

E、感染症対策について

- マスクの着用は、保護者や所属先団体引率者と相談するなどし、各自の判断でお願いします。マスクの保管についても各自で行ってください。

- 競技会場出入口に手指消毒液を準備していますので、適宜ご利用ください。

E、引率者、観覧されるご家族、応援者の方々へのお願い

- 動画撮影、写真撮影について

選手の集中を妨げる可能性があるフラッシュが発光しないよう機器を調整のうえ観覧スペース

でお願いします。また、三脚などを利用する場合、ほかの観覧者の迷惑にならないよう配慮も併せて

お願いします。

- 選手への声掛け、選手控室への出入りについて

競技の公平性の確保のため、選手が体調不良を訴えた場合を除き、ビルクリーニング競技が終了

するまでは選手への声掛け(内容が競技と関係あるか否かは問いません)と選手控室への出入りは

お控えいただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

きょうぎ
ビルクリーニング競技タイムテーブル

- きょうぎしゅうりょうご しんさけっか はっぴょう ふく へいかいしき おこな しんさいん こうひょう おこな
・競技終了後、審査結果の発表などを含む閉会式は行いませんが、審査員による講評を行います。
- きょうぎしゅうりょうご ただ かえ ばあい せんしゅひかえしつ なまえ しよぞくだんたいめいしょう きたく
・競技終了後、直ちにお帰りになる場合は、選手控室スタッフに「お名前」、「所属団体名称」、「帰宅す
る旨」をお伝え頂き、ゼッケンを返却のうえ気を付けてお帰りください。

そうごうけつけ 総合受付： きょうしつどう かい 教室棟 1階 しゅうしょくしえんしつ 就職支援室	8：50～ 9：20	
さんかきょうぎうけつけ 参加競技受付： だい じっしゅうどう かい 第2実習棟 2階 くうちょうじっしゅうしつ 空調実習室	8：55～ 9：25	さぎょう ふくそう き が しゅうごうじかんない ①作業がしやすい服装に着替え、集合時間内にビルクリーニング きょうぎかいじょう うけつけ しゅっせきかくにん きょうぎじゅん き ひ 競技会場の受付で出席確認と、競技順を決めるくじを引 き、ゼッケンを受け取ってください。 う と ② ゼッケンを受け取った選手は、選手控室へ移動しゼッケンを ちやくよう してい せき たいき 着用のうえ指定された席で待機してください。 せんしゅひかえしつ せんしゅ しんさいいん きょうぎ ほうどうかんけいしゃいがい (選手控室には選手、審査委員、競技スタッフ、報道関係者以外 はい ちやくよう いんそつ せんせい かぞく てつだ は入れません。ゼッケン着用を引率の先生やご家族に手伝ってもら ばあい にゅうしつまえ すす う場合は、入室前にすることをお勧めします。)
たいきばしょ せんしゅひかえしつ 待機場所(選手控室)： だい じっしゅうどう かい 第2実習棟 2階 きょうしつ 教室2	9：00～ 9：30	きょうぎ し じ たいき 競技スタッフの指示があるまで待機してください。
オリエンテーション	9：30～ 9：40	きょうぎ し じ したが きょうぎかいじょうない いどう 競技スタッフの指示に従い競技会場内に移動してください。 しんさいいんしょうかい かいじょうないしょうじょう ちゅういじこうとう せつめい おこな 審査委員紹介、会場内使用上の注意事項等の説明を行います。

きょうぎかいし 競技開始	9：40～ 10：50	ばんごう かつ かつ きょうぎ しょう しきざい ① ゼッケン番号①の方と⑥の方は、競技で使用する資機材の じゅんぴ かくにん おこな 準備・確認を行 ってください。 ばんごう かつ かつ きょうぎかいじょうない たいきばしょ ② ゼッケン番号②の方と⑦の方は、競技会 場 内の待機場所で たいき せんしゅ きょうぎ し じ したが せんしゅひかえしつ 待機し、ほかの選手は競技スタッフの指示に 従 い選手控 室に
きゅうけい 休憩	10：50～ 11：00	いどう していばしょ たいき 移動し指定場所で待機してください。
きょうぎしゅうりょうよてい 競技 終 了 予定	11：00～ 12：10	せんしゅひかえしつ たいき せんしゅ きょうぎ こえ か ③ 選手控 室で待機している選手には、競技スタッフが声を掛け すみ きょうぎかいじょうない いどう ます。速やかに競技会 場 内に移動してください。 きゅうけいご きょうぎかだい いれか じゅん きょうぎ じっし ④ 休憩後に競技課題を入替え、①～③の 順 で競技を実施しま す。 けっせき にんずう へんどう ばあい じょうき なが へんこう しょう ※欠席により人数が変動した場合には、上記の流れに変更が生 じ ばあい りゅういねが る場合があることにご留意願います。 ねっちゅうしょうたいさく すいぶんほきゅう かくじ おこな ※熱 中 症 対策のために、こまめな水分補給を各自で 行 って ください。 たいちょう すぐ ばあい ちか もう で ※体 調 が優れない場合には、近くにいるスタッフに申し出てくだ さい。
しんさいいん こうひょう 審査委員による講 評	12：20～ 12：30	きょうぎしゅうりょうご しんさいいん こうひょう おこな こうひょう き 競技終了後に審査委員による講 評を行 います。講 評をお聞 せんしゅ せんしゅひかえしつ たいき こうひょう きになりたい選手は選手 控 室で待機してください（講 評は、 かんけいしゃ かがた き かのう 関係者の方々もお聞きになることは可能です。）

れいわ ねんど だい かい ながさきけん しょうがいしゃぎのうきょうぎたいかい
令和7年度 第47回 長崎県アビリンピック(障害者技能競技大会)

きょうぎかだいさぎょうようりょう
ビルクリーニング競技課題作業要領

はじめに

れいわ ねんど きょうぎ ながさき どりつぎょうせいほうじんこうれい しょうがい きゅうしょくしゃ
令和7年度のビルクリーニング競技は、ポリテクセンター長崎(独立行政法人高齢・障害・求職者

こようしえんきこうながさきし ぶ だい じっしゅうどう かいこうちょうじっしゅうしつ かだい せんいゆかせいそうさぎょう さぎょうじかん ふん
雇用支援機構長崎支部) 第2実習棟 2階空調実習室にて「課題1;繊維床清掃作業(作業時間7分)」

かだい だんせいゆかせいそうさぎょう きじょう ふ き さぎょう さぎょうじかん ふん きょうぎかだい じっし
と「課題2; 弾性床清掃作業及び机上拭き作業 (作業時間10分)」の2つの競技課題で実施します。

とうじつ きょうぎさんかりゅういじこう べっし けいさい とうじつ
当日のスケジュールを、ビルクリーニング競技参加留意事項の別紙1に掲載しておりますが、当日

てんこうなど えいきょう しんこう えいきょう で かのうせい りゅうい
の天候等の影響により進行に影響が出る可能性があることにご留意ください。

さぎょう あんぜん むり しせい ところが かくかだい さだ さぎょうじかんない さぎょう かんりょう つと
作業は、安全で無理のない姿勢を心掛け、各課題が定めている作業時間内に作業が完了するよう努

さぎょうじかん けいか ばあい さぎょうじかん こ おこな さぎょう ひょうか
めてください。なお、作業時間を経過した場合は、作業時間を超えて行った作業は評価されません

かてんたいしょうがい
(加対象外となります)。

きょうぎ しんさいいん きょうぎ かり しんこう きょうぎかいし きょうぎしゅうりょう
競技は審査委員と競技スタッフ(タイマー係)で進行しますので、競技開始から競技終了までの

こえか など きょうぎちゅういじこう きょうつうじこう かくにんねが
声掛け等は、競技注意事項[共通事項] 2でご確認願います。

きょうぎぜんご しゅし しょうどく ちゃくよう せんしゅこじん はんだん
なお、競技前後の手指の消毒と、マスクの着用については選手個人の判断となっていることにご

りゅういねが
留意願います。

きょうぎちゅういじこう 競 技 注 意 事 項

きょうつうじこう [共 通 事 項]

1. しようしきざい じゅんぴ 使用資機材の準備について

きょうぎ しよう しきざい じゅんぴ べっし しようしきざいいちらんひょう かくにん かだい さぎょう
競技で使用する資器材の準備は別紙2使用資機材一 覧 表 をご確認いただき、課題ごとの作業
しようにしよ べっし べっし したが おこな
仕様書(別紙3、別紙4)に従い行 ってください。

きょうぎじかん こえかけなど 2. 競技 時間と声掛け等について

かだい きょうぎじかん ふん かだい きょうぎじかん ふん き
課題1 の競技時間は7分、課題2 の競技時間は10分と決まっています。

せんしゅ しんさいいん しきざい じゅんぴ はじ こえか あと みずか てんけん そろ
選手は、審査委員からの「資機材の準備を始めてください」の声掛けの後、自ら点検し、揃っ

ていることを確認のうえ、審査委員に資機材の準備が完了したことを「準備が完了しました」等の

こえか きょしゅ しんこく
声掛け、または「挙手」により申告してください。

しんさいいん こえか あと せんしゅみずか きょしゅ
審査委員の「はじめてください」の声掛けの後、選手自ら「はじめます」または「挙手」する

しんこく さぎょう かいし せんしゅ しんこく う
など申告のうえ作業を開始してください。(選手の申告を受けてからタイマーがスタートします。)

かだい のこ ふんまえ かだい のこ ふんまえ のこりじかん きさい きょうぎしや
課題1 は残り 2分前、課題2 は残り 3分前に、それぞれの「残り時間を記載したカード」を競技者に

み かり かか きょうぎじかんない さぎょう かんりょう つと
見えるようにタイマー係 が掲げますので、競技時間内に作業が完了するよう努めてください。

きょうぎしゅうりょうじかん たっ ばあい きょうぎじかん かだい ふん かだい ふん きさい
なお、競技終 了 時間に達した場合、それぞれの競技時間(課題1 は7分、課題2 は10分)を記載し

たカード」を競技者と審査委員に見えるようにタイマー係 が掲げますので作業をやめるか又は、残

さぎょう すく ばあい さぎょう けいぞく しんさいいん さぎょう しゅうりょう
り作業が少ない場合等は作業を継続してもかまいません。ただし、審査委員より「作業を終 了 し

てください」 と声掛けがあった場合は、直ちに作業を終 了 してください。

きょうぎじかん す おこな さぎょう ひょうか かねん りゅういねが
※競技時間を過ぎて行 った作業は評価(加点)されないことにご留意願います。

3. 使用する資機材について

支給されたものの以外は使用できません。(詳細は別紙2をご参照ください。)

4. 採点について

「作業準備」、「作業動作(手順・姿勢)」、「仕様誤り」、「作業態度」、「作業時間」の5面から審査し、加点方式で採点します。なお、作業姿勢は、安全で無理のない姿勢で行うように心掛けてください。なお、競技時間を過ぎて行った作業は評価(加点)されません。また、無理な姿勢で作業を行っている」と審査委員が判断した場合も、その作業項目は評価(加点)されません。

5. 作業手順について

・課題1の作業手順は、別紙6 繊維床清掃作業手順を参照してください。

・課題2の作業手順は、別紙7-1乾式モップ作業手順、別紙7-2水拭きモップ作業手順、別紙7-3机上拭き作業手順の各手順を参照してください。

なお、課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。

6. 服装について

作業に適した服装をしてください。

7. 作業ごとに入退室を行う際には会釈(軽く挨拶や礼)をしてください。

8. 「資機材の確認作業が完了したことを申告するとき」、作業開始前後の「はじめます」や「終わります」

の声掛けや、入退室の際の「失礼します」等の挨拶は、競技者自身で行ってください。なお、

声を出すことが困難な場合は挙手による意思表示で構いません。

9. 上記8以外は、競技中に声を出さないでください。

かだい せんいゆかせいそうさぎょう じかん ふん
◎課題 1：繊維床清掃作業(時間：7分)

さぎょう しょうさい べっし べっし しんくうそうじき しょう べっし さんこう さんしょう
作業の詳細は、別紙3と別紙6を、真空掃除機の仕様は別紙3(参考)を参照してください。

- さぎょうめんせき はばき くかく
1. 作業面積は16m²(4m×4m)とし、幅木により区画します。
- せんいゆか きゅうじんさぎょう
2. 繊維床の吸塵作業です。
- ゆか しより かみくず ていど
3. 床のゴミは「シュレッダー処理した紙屑」を50ml程度まいたものとします。
- しょうしきざい していほかんばしょ お さぎょうかいしまえ すべ そろ かくにん
4. 使用資機材は指定保管場所に置かれています。作業開始前に全て揃っていることを確認してください。
- はばき うえ かべ さぎょう おこな
5. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
- していほかんばしょ しょうしきざい いどう
6. 指定保管場所から使用資機材を移動してください。
- さぎょうばしょ つくえ いどう
7. 作業場所にある机は、移動させないでください。
- さぎょうしゅうりょうご しょう しきざい していほかんばしょ かたづ
8. 作業終了後は、使用した資機材を指定保管場所へ片付けてください。
- きょうぎ しょう しんくうそうじき ぜんこくたいかい じゅんきょ しょう べっし さんこう しゃしん けいさい
9. 競技で使用する真空掃除機(全国大会に準拠)の仕様については、別紙3(参考)に写真を掲載しております。参考にしていただければ幸いです。

かだい だんせいゆかせいそうおよ きじょう ふ さぎょう じかん ぶん
◎課題 2：弾性床清掃及び机上拭き作業(時間:10分)

さぎょう しょうさい べっし べっし さんしょう
作業の詳細は、別紙4と別紙7-1～7-3を参照してください。

- さぎょうめんせき はばき くかく
1. 作業面積は16m²(4m×4m)とし、幅木により区画します。
- ゆかざいつ えんか けい ちょうじゃく ゆかめん
2. 床材質は塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
- しより ゆかめん じょじん ふ しより およ きじょう ふ さぎょう
3. ゴミ処理・床面の除塵・拭き・ゴミ処理及び机上拭きの作業です。
- していほかんばしょ さぎょうよう うえ さぎょう ひつよう しきざい じゅんび ふそく てんけん
4. 指定保管場所の作業用カートの上に、作業に必要な資機材は準備されています。不足がないか点検し、不足している場合は競技スタッフに申し出てください。

5. 点検時に、ワンタッチモップ柄の長さを調節し、ダスタークロスを乾式モップヘッドに取り付けてから作業用カートの上に置いてください。
6. 床のゴミは「おがくず」を 50ml 程度まいたものとします。
7. 作業開始の挨拶の後、作業用カートを指定保管場所から移動してください。
8. 幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 全ての作業が終わったら、作業用カートを指定保管場所に戻し、作業終了の挨拶をしてください。
11. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。
12. 採点には関係ありませんが、使用したラグ（モップ房）と水拭き用タオル（青色）は、選手自ら水洗いし、固めに絞ってから競技スタッフに返却していただくようご協力をお願いします。

しやう しきざいいちらんひやう
◎ 使用資機材一覧表

かくきやうぎじやう じゆんぴ
1. 各競技場に準備されているもの

かだい
(1) 課題1

ひんめい 品名	すんぽう また きかく 寸法 又は 規格	すうりやう 数量	びこう 備考
さぎやうひやうじばん 作業表示板		1 個	
しんくうそうじき 真空掃除機	がた がた ポット型 リンレイ RD エコ 2型	1だい 1台	きかい ほんたい の 使用 は 別紙 3(参考)をご 参照願いま す。
つくえ 机	ぎのうけんていしきざい じゆんきよ ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1だい 1台	
イス	しきお しき パイプ式折りたたみ式	きゃく 1脚	
ばこ ゴミ箱		こ 1個	

かだい
(2) 課題2

ひんめい 品名	すんぽう また きかく 寸法 又は 規格	すうりやう 数量	びこう 備考
さぎやうやう 作業用カート	ぎのうけんていしきざい じゆんきよ ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	だい 1台	
さぎやうひやうじばん 作業標示板		こ 1個	
ワンタッチ モップ柄	しんしゆくえ ワンタッチアルミ伸縮柄	ぼん 1本	さぎやう ひつやう 作業 に 必要 な 資機材が 作業カート の上に準備 されている か、選手自身 で確認して
ラグ (モップ房)	しろいろ 260g 白色	まい 1枚	
こがた 小型ほうき	はばやう 30 cm幅用	ぼん 1本	

			ください。
かんしき 乾式モップヘッド	よう 63 cm用	こ 1個	
ぶんか 文化ちりとり	ぎのうけんていしきざい じゆんきょ ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	こ 1個	
タオル	むじ みずふ よう あおいろ まい 無地 水拭き用（青色） 1枚、 ふ よう はくしよく まい から拭き用（白色） 1枚	まい 2枚	
ダスタークロス	はば ふしよく ふ 69 cm幅の不織布	まい 1枚	
ぶくろ ビニール 袋	ばこようかえふくろ ゴミ箱用替袋	まい 1枚	さぎょうゆかめん 作業床面に お置かれてい ます。
つくえ 机	ぎのうけんていしきざい じゆんきょ ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	だい 1台	
イス	しきお パイプ式折りたたみ	きゃく 1脚	
ばこ ゴミ箱		こ 1個	

2. 競技者が持参するもの

ひんめい 品名	すんぼう また きかく 寸法 又は 規格	すうりょう 数量	びこう 備考
さぎょう ぎ じょう げ 作業着(上・下)		ちやく 1着	
さぎょうぼう また さんかくきん 作業帽 又は 三角巾		こ 1個	
さぎょうぐつ 作業靴		そく 1足	

(注意) 持参するものは、上記のものに限りますが、予備を持参することは差し支えありません。

課題1：繊維床清掃作業仕様【時間：7分、作業手順詳細は、別紙6繊維床清掃作業手順を参照】

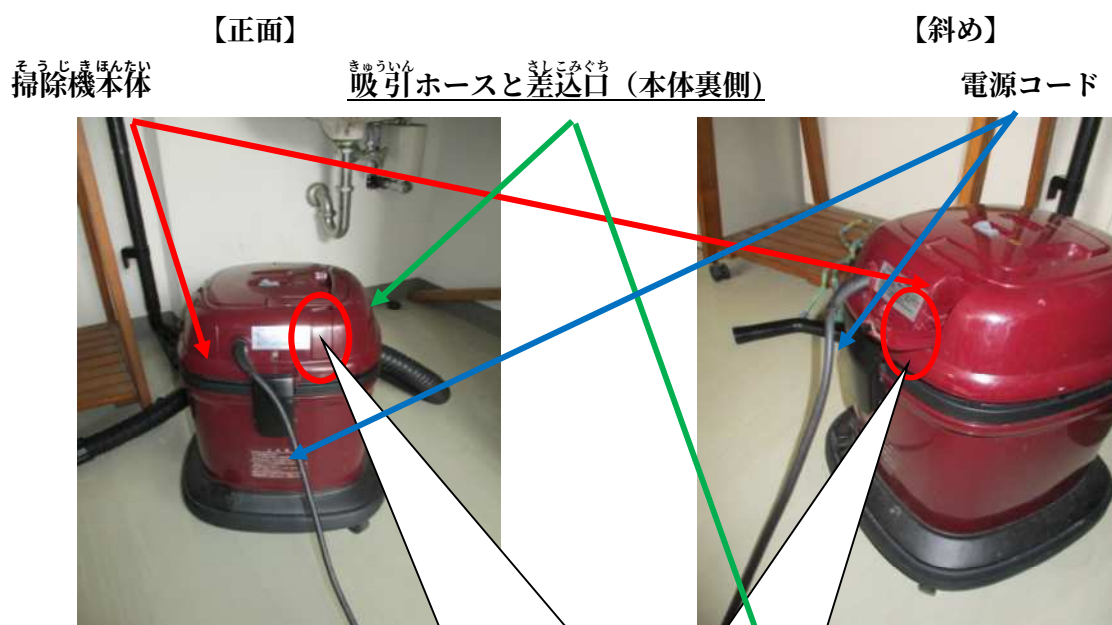
作業仕様(課題1) 安全で無理のない姿勢で作業を行うよう努めてください。

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	・作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 ・真空掃除機には、ウォンドと吸込み口がセットしてある。 ・作業表示板は既に所定の位置に立ててある。	・必要な資機材及び数量は、資機材一覧表を参照すること。 ・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	・資機材の点検終了後、競技スタッフの指示に従い、所定の位置に立ち、資器材の準備が完了したことを審査委員に申し出る。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、審査委員の始めの合図で、「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードを外し、プラグをコンセントに差込み、始動点検を行う。	吸込み口に手をあて、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入室する。	

除塵 （真空掃除機）	・真空掃除機を使用し、外から入口 を除塵し入室する。 ・室内での作業手順は、カーペッ ト床作業手順のとおり行 う ・ゴミ箱は持ち上げて除塵する。 ・前進しながら吸塵する。 ・作業が終了したら掃除機を室内 より出してプラグを抜く。	・入口のゴミを踏まな いように広めに足場を 確保する。 ・吸込み口を床に強く押し 付けない。 ・イスを手前に引き出し、 机の下の除塵作業を行 い、元に戻す。 ・掃除機本体は手で持っ て移動する。 ・プラグを持って抜く。	ゴミは、「シュレッ ダーで裁断した紙屑 を 50ml 程度均等にま いてある。 ・掃除機のコードを持っ て抜かない。
点検	指差し又は目視点検を行 う。	資機材の戻し忘れ、ゴミの 取り残しがないか点検す る。	声を出さない。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の 挨拶を行 う。	「失礼しました」等と一礼 して退室する。	
資機材の片付け	真空掃除機のコードを巻き、真空 掃除機を保管場所に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了の挨拶を 行 う。	「終了しました」等の 意思表示を行 う。	作業終了を申告す る。

ビルクリーニング競技課題1で使用する真空掃除機の仕様

ながさきたいかい しょう しんくう そうじ き か き しょう
長崎大会で使用する真空掃除機は下記の仕様となっております。練習時に使用する掃除機と相違が
あると思われまますので、ご指導にあたりご利用いただければ幸いです。



でんげん しゅうのう じ しょう
電源コード収納時にフックを使用する

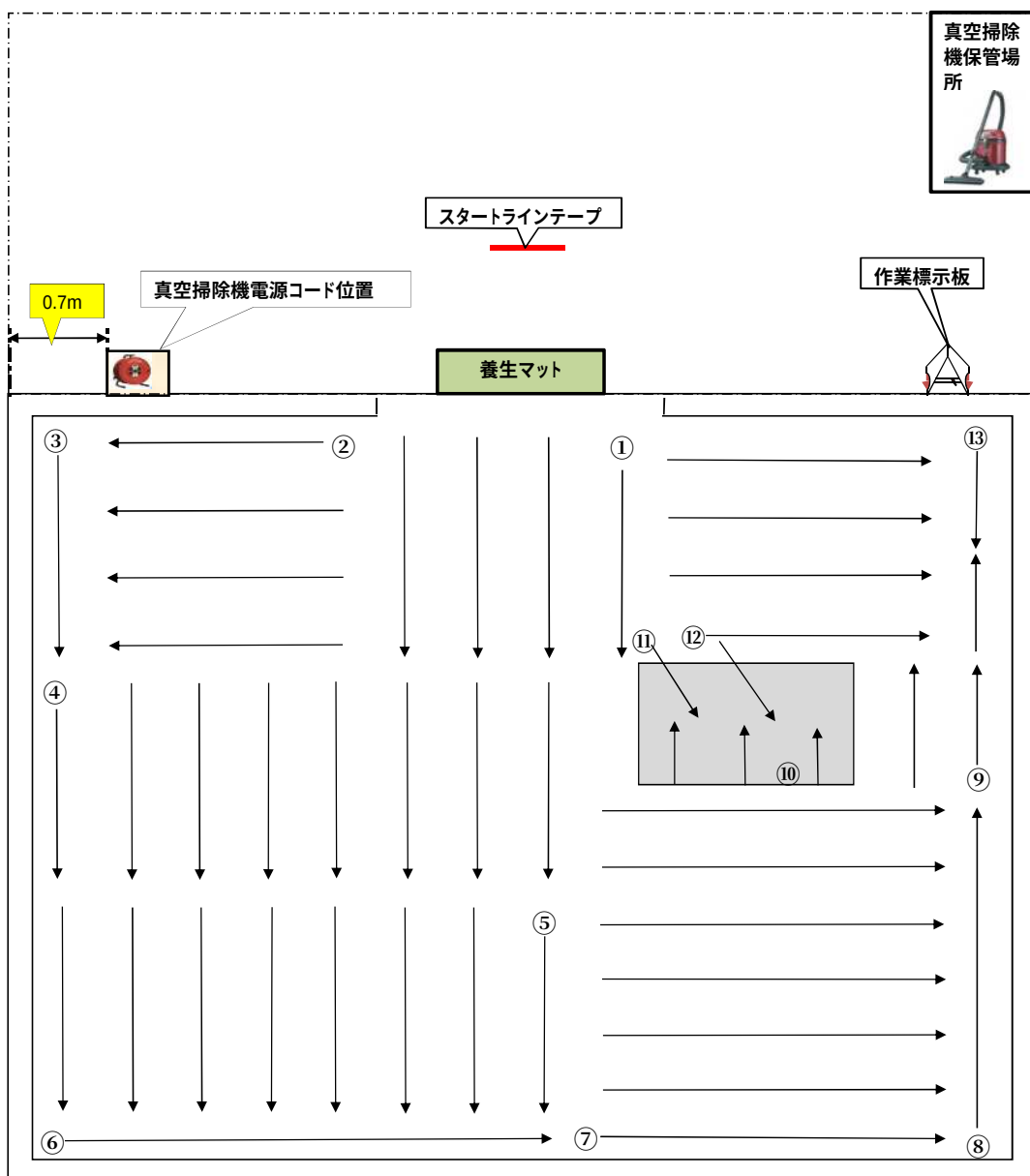
きゅういん さしこみぐち
吸引ホース差込口

【真上】



でんげん しゅうのう じ しょう
電源コード収納時にフックを使用する

繊維床清掃作業手順



注：

- ・作業の進行は①～⑬の順に行う。吸引回数を入れたものではありません。
- ・吸引むらが無いように適切な間隔で吸引する。

課題2：弾性床清掃及び机上清掃作業仕様【時間：10分、作業手順の詳細は、別紙7-1乾式モ

ップ作業手順、別紙7-2水拭きモップ作業手順、別紙7-3机上拭き作業手順を参照】

作業仕様(課題2-1) 安全で無理のない姿勢で作業を行うよう努めてください。

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	・作業に必要な資機材(モップ・タ オル等)は、すでに作業用カートの 上に準備されている。 ・ワンタッチモップ柄の長さを 調整し、ダスタークロスを乾式モ ップヘッドに取り付けてから 作業用カートの上に置く。	・必要な資機材及び数量 は、資機材一覧表を参照 すること。 ・資機材に不足が無いか 点検し、異常があれば申し 出る。	・資機材の点検終了後、 競技スタッフの指示に 従い、所定の位置に立 ち、資機材の準備が 完了したことを審査 委員に申し出る。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、審査委員の始 めの合図で「はじめます」と挨拶 を行い、競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	作業開始を申告する。
作業準備	作業用カートを保管場所から作業 場所の近くへ移動し、作業標示板 を立てる。		
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の 挨拶を行う。	「失礼します」と一礼し て入室する。	

イス上げとゴミ処理 (1) イスをあげる (2) ゴミの回収 (3) ゴミ袋のセット	さぎょうまえ つくえ うえ - 作業前にイスを机の上にあげる。 ぼこ - ゴミ箱にセットされているビニール袋を回収する。 かいしゅう ぶくろ - 回収したビニール袋をカートの袋の中に入れる。 ぶくろ かえぶくろ と だ - ビニール袋の替袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ぼこ つくえ うえ - ゴミ箱を机の上にあげる。	つくえ うご - 机は動かさない。 つくえ だ - イスは机からはみ出さないように正しくのせる。 ぶくろ ただ - ビニール袋を正しくセットする。 ぼこ つくえ だ - ゴミ箱は机から、はみ出さないように正しくのせる。	
除塵作業 (乾式モップ)	そうちやく かんしき - ダスタークロスを装着した乾式モップヘッドは入口の養生マツトの上でモップ柄に取付ける。 うえ え とりつ - 乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。 しつない さぎょうてじゅん かんしき - 室内での作業手順は、乾式モップ作業手順のとおり行う。 ぜんしん でぐち む - ゴミは前進しながら出口に向かって1箇所を集める。 え はず - ヘッドを柄から外す。 しょうず - 使用済みのダスタークロス	え せんたん おやゆび そ - 柄の先端には親指を添える。 へん ひろ ほう - ヘッドの辺は広い方を先行させる。 いりぐち ふ - 入口のゴミを踏まないように足場を確保する。 ゆか はな - ヘッドは、床から離さない。 しょうず - 使用済みダスタークロスはカートの袋の中に入れる。 と のこ - ゴミの取り残しがある	ゴミは「おがくず」を50ml 程度均等に撒いてである。 てんけん さい こえ だ 点検の際に声を出さない。

	ヘッドから外^{はず}し、カート^{ふくろ}の袋^{なか}の中 に収^{しゅう}納^{のう}する。 ・柄^えとヘッド^{もど}をカート^{もど}に戻^{もど}す。 ・小^こ型^{がた}ほうきと文^{ぶん}化^かちり取^とり^とを 使^し用^{よう}し、集^{あつ}めたゴ^ごミ^{のこ}を回^{かい}収^{しゅう}する。 ・ゴ^とミ^{のこ}の取^とり残^{のこ}しがな^{てん}い^{けん}か点^{てん}検^{けん}す る。 ・小^こ型^{がた}ほうきと文^{ぶん}化^かちり取^とり^とを カ^{もど}ート^{もど}に^{もど}戻^{もど}す。	場^ば合^{あい}は、小^こ型^{がた}ほうきと 文^{ぶん}化^かちり取^とり^とを^し使^し用^{よう}し 回^{かい}収^{しゅう}する。 ・ヘッ^{じょう}ド^ぶは、カ^{じょう}ート^ぶ上^ぶ部^ぶ にス^{めん}ポ^うン^えジ^え面^えを^し上^しに^して、 邪^{じゃ}魔^まにな^おら^おな^おい^およう^おに^お置^お く。
--	---	--

さぎょうしょう かだい
作業仕様(課題2-2)

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
みずふ さぎょう 水拭き作業 (モップ)	ゆかぜんたい ふ ・床全体を拭く。 しつない さぎょうてじゅん みず ふ ・室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり行 う。 まわ つくえ あしもと ふさいと ・コーナー周り と 机 の足元は房糸に て そ ふ 手を添えて拭く。 てき ぎうらがえ ぜんたい ・モップは適宜裏返し、モップ全体 つか ふ を使って拭く。 よこ ふ こうたい ・モップは横拭きとし、後退しながら ふ 拭く。	ふ のこ ふ ・拭き残し、拭きむらが ないようにする。 え せんたん おやゆび そ ・柄の先端に親指を添 える。 ふさいと はば き つくえ きやくぶ ・房糸が幅木、机 の脚部 ふ に触れないようにする ふ ・拭いたところを踏まな いようにする。	
ばこ お ゴミ箱とイス下 ろし	あんぜん おと た おろ 安全に音を立てないように下ろす。	あし うえ お 足の上に落とさないよう ちゅうい に注意する。	
きじょう ふ 机上拭き	あおいろ やつおり も ・青色のタオルを八折にして持つ。 つくえ うえ あおいろ みずぶ ・机 の上を青色タオルで水拭きした あと しろいろ ぶ 後に、白色タオルでから拭きする。	よこ ・タオルが汚れたら、き めん だ ふ れいな面を出して拭く。 つくえ ふち ふく よすみ ・机 の縁を含めて、四隅 ちゅうおう ふ から中央へと拭く。 よこ ふ たて ふ おこな ・横拭き・縦拭きを行 う。	
てんけん 点検	ゆび さ もくしてんけん おこな 指差し又は、目視点検を行 う。	し きざい もど わす 資機材の戻し忘れ、ゴミ	てんけん さい こえ だ 点検の際に声を出さ ないこと。

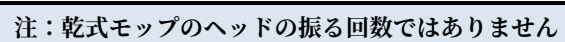
		とりのこ など てんけん の取残し等の点検を行う。	
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	でぐち しつない む 出口にて、室内に向かって退室の あいさつ おこな 挨拶を行う。	しつれい 「失礼しました」と いちれい たいしつ 一礼して退室する。	
しきざい かたづ 資機材の片付け	さぎょうひょうじばん さぎょう しゅうのう 作業標示板を作業カートに収納し、 さぎょう ほかん ぼしよ もど 作業カートを保管場所に戻す。		
しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶	しょうてい い ち た しゅうりょう あいさつ 所定の位置に立ち、終了の挨拶を おこな 行う。	おわ など い し 「終わりました」等の意思 ひょうじ おこな 表示を行う。	さぎょうしゅうりょう しんこく 作業終了を申告する。

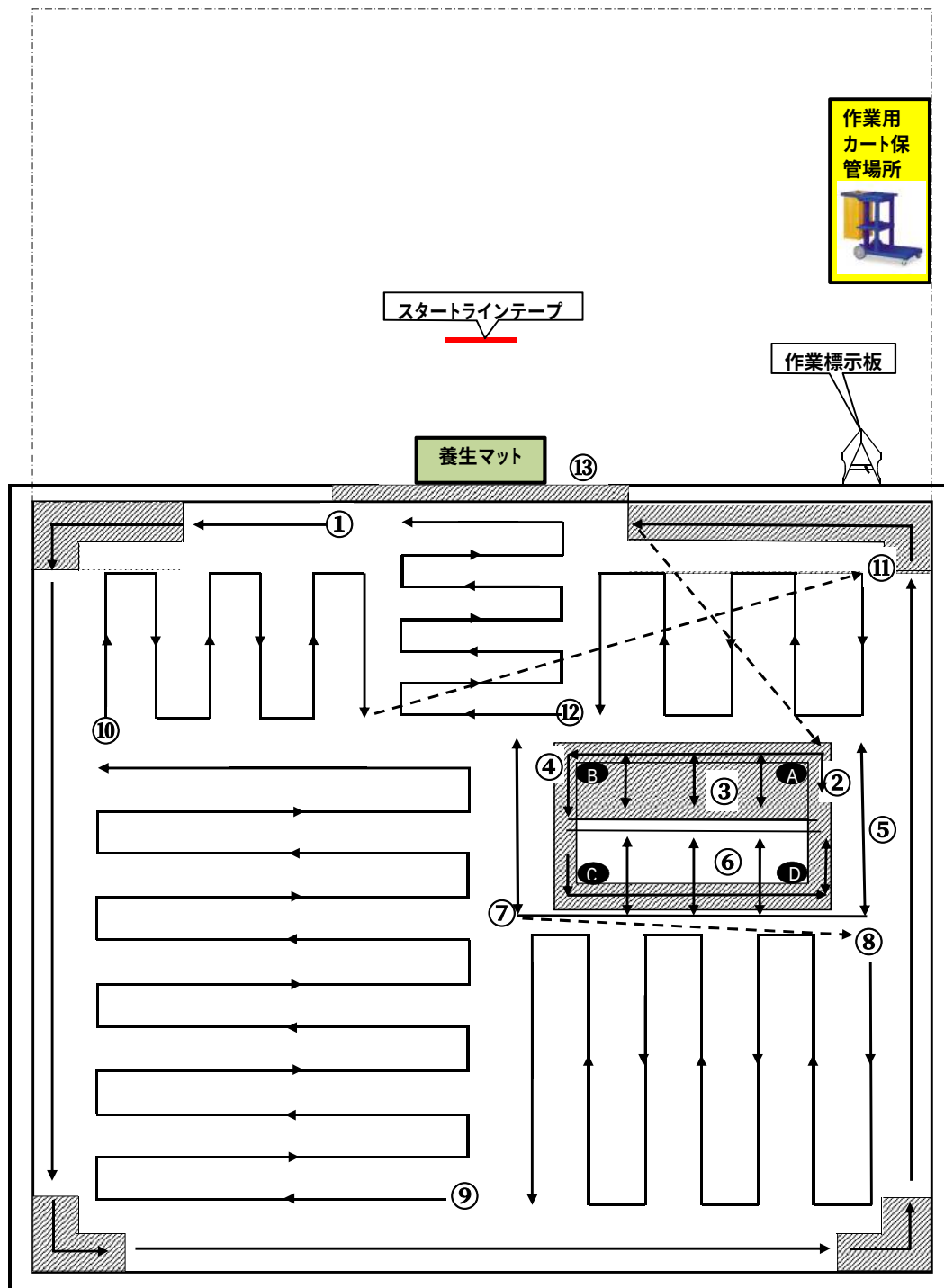
だんせいゆかせいそうさぎょう およ きじょうせいそうさぎょうしゅうりょうご ねが
弾性床清掃作業 及び 机上清掃作業終了後のお願い

みずふ さぎょう しょう ふさ きじょうみずふ よう あおいろ かいじょうない していぼしよ
水拭き作業で使用した「モップ房」と机上水拭き用タオル（青色）の2つは、会場内の指定場所

きょうぎしゃじしん みずあら かぎ かた しぼ きょうぎ へんきやく みずあら
で競技者自身が水洗いし、できる限り固く絞ってから競技スタッフに返却してください。水洗い

ば あい きょうぎ みずあら し じ
していない場合は、競技スタッフが水洗いするように指示をします。





注： 印は手を添える箇所を示しています。水拭き回数を入れたものではありません。

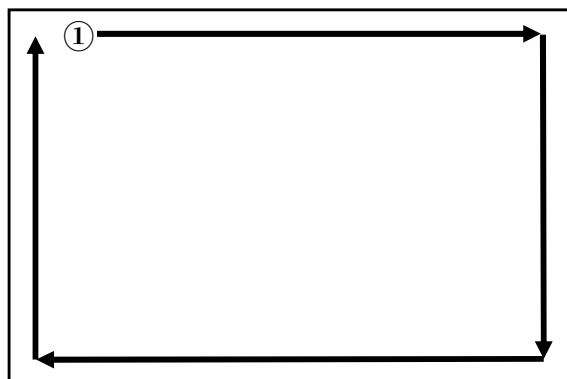
- ① 幅木側を1周すること。(コーナーは手を添えて作業を行う)
- ② Aの足回りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B足、C足、D足の順に脚回りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇(壁側)を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇(入口側)を拭く
- ⑧～⑫ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑬ 入口を手を添えて拭く

机上拭き作業手順

べっし
別紙7-3

共通事項

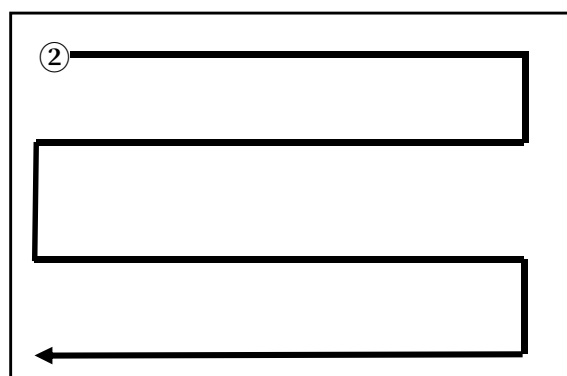
※作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆とした方法でも構いません。
※選手は審査委員に正対し動線図に示された場所に立つ(縦拭き・横拭きも同様)
※適宜タオルの面を変えながら拭く



作業者の立ち位置

縁(机の4辺)の拭き方

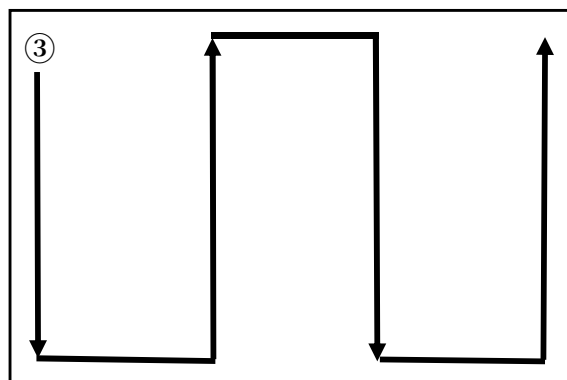
①四角く、縁に沿って拭きます。(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



作業者の立ち位置

中央の拭き方

②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



作業者の立ち位置

中央の拭き方

③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

別紙平面図 第2実習棟2階配管実習場(ノンスケール)

